

市議団ニュース

28年度一般会計決算の認定に反対

9月4日から27日までの間9月定例会が行われました。主な議案は昨年度の決算（予算執行の実績など）、補正予算、意見書などで、市長提出24議案、議員提出3議案が審議されました。

党議員団は、すべての議案に対して①市民の利益につながる議案内容か。②部分的な改善があっても原則部分の後退がないか。詳細に分析して議案の審査に臨みました。

市の財政調整基金は58億2千万円にも！

平成28年度は、安倍政権による「アベノミクス」の加速が進んだ年でした。金融や輸出関連では、企業収益が増加し、近年最高の利益を出しました。その一方で年金の削減や医療費負担増の改悪が進められ、介護・生活保護など福祉の後退が行われた年でもありました。

高齢者や低所得世帯では、可処分所得が「目減り」するので、結果的には、生活水準を引き下げざるを得なくなっています。

「財源は、あつたはず！」

党議員団では、予算時に修正案を提出し、久喜市が行政力を発揮して、各分野において生活弱者を救済する手立てを講じることが必要と提起して来ました。

決算認定審査において、基金の増加など、それに必要な財源はあつたはずだと問いただしました。

各分野での決算上の問題点（要旨）

- ・市長の交際費が県内でトップクラス。削減すべきです。
- ・職員の残業が改善されず、職員不足の対応が必要な課がある。体制の保障を。
- ・公平な人権施策を推進すること。同和対策は、やめて一般事業に転換を。
- ・生活保護では「住宅扶助額」が削減され、受給者はさらに生活を切り詰めている。市で不足分を補てんすべき。
- ・子ども医療費は28年度中に6自治体が新たに高校卒業まで無料にした。久喜市も続くべきだ。
- ・「被災者住宅再建事業」は再建支援金と受付期間延長を検討すべき。
- ・市営住宅は、生活困窮者が安心して住める住宅として立て直し、再整備を。
- ・学校給食は、28年度に「センター方式ありき」で進められた。こどもや保護者の声を聞かずに進めたことは問題がある。
- ・社会保障と税番号制では、市の独自負担が2748万円もあつた。個人情報の漏えいなど問題が多すぎる。
- ・済生会栗橋病院の現地存続に向けて、病院側との連携が不十分だったのではないか。

久喜地区のデマンド実証運行は年明け1月から 菖蒲・栗橋・鷲宮から「置き去りではないか？」の声も

タクシー方式、料金半額補助に！



久喜地区で予定されている「タクシーを利用したデマンド交通」の実証実験が平成30年1月15日から1年間かけて行われます。

◆単独乗車方式ですが、お友達と一緒に利用することも可能です。

◆料金は半額が補助されます（上限1500円）

今回は高齢者対策としても検討するというので、75歳以上、障がい者の方など利用対象者に制限があります。

◆利用者登録は平成29年11月から 本庁舎「生活安全課」各総合支所の「市民課」で受け付けます。

【公共交通会議での市の考え方は？】

「実証実験終了後、市内循環バス、菖蒲、栗橋・鷲宮地区でのデマンド交通を含めたそれぞれの公共交通の課題を分析・検証し、本市に最も有効性のある公共交通システムの構築を目指します。」としています。

※詳しくは、11月1日号の「広報くき」に掲載されます。



「私たちの地区は置き去り？」

久喜地区以外の方からも、注目をされていますが、「なぜ久喜地区だけ？私たちの地区は、やらないのか」などの声も上がっています。

市は今回の結果を踏まえて、今後の市全体のデマンド交通のあり方を検討していくとしています。合併して8年が経過しています。旧地区をまたいで、久喜市全体の利用者が格段に増加するための第一歩となるようにすべきです。



石田としはる

栗橋東5-7-21

1. 南栗橋地域の液状化対策工事が進む中、道路舗装の凹凸や各家庭の家屋にも影響を与えていることから対策を問いました。

問 工事により道路の凸凹、修復はどう進めるのか、計画は。

答 道路の復旧については現在仮舗装で、今後は状況を見ながら舗装の修繕を行う。モニタリング調査実施後、対策の影響を確認後、本復旧工事を実施する。

工事に伴う影響が出ている。補償はどのように進めるのか。

答 工事により隙間ができたなど家屋等へ影響は私どもにも声が届いており、記録してそれも含めた形でやっていきたい。工事後アンケート調査や家屋調査を実施し影響を確認する。

問 地下水位を急激に下げると「不同沈下」が発生する恐れから段階的に低下させるとしている。どのように進めていくのか。

答 全ての区域で、所定の水位まで3段階に分け実施する。3ヶ月間のモニタリング調査を行い慎重に進めていく。

問 地下水位のモニタリング調査の進捗状況とその公開は。

答 工事の完了箇所から実施中。対策工事の状況は、回覧や現場に観測データは、ホームページや情報紙を通じ知らせていく。

2. 栗橋南小学校体育館 床の揺れが異常 調査とその対策は

答 揺れの原因を6月16日に調査。床を支える指示棒が横揺れに弱い構造であることが判明。7月下旬に補強工事を実施。児童に体育館での運動をした結果揺れがおさまったことを確認。今後は床の周辺のすき間を埋める工事を9月中に実施し完了する予定。



平間ますみ

本町8-4-1

1. 歩道の改修を！！

市内には、けやき通りを始め、木の根が歩道に張り出し、通行に危険な場所が数多く存在します。そのような中、市民の方がいちょう通りの東地域「向地大橋」近くの歩道で転倒し、救急車を要請する事故が発生しました。一般質問でも取り上げ、建設部に改修を要請したら、速やかに対応してもらいました。今後市内の状況を至急調査し、適正な管理を行うよう要請しました。

2. 中落堀川の浚渫を！

五領橋付近、北陽高校、香取公園付近は葦が大きく成長し、水の流れが滞っています。特に五領橋付近は大雨の時に冠水する場所であり、葦の除草だけでなく、川底の土を取り除くことを要請しました。例年通り11月に実施するとのこと。

3. 北陽高校西門側の冠水対策を

災害時の避難所にもなっている北陽高校。西門付近は、大雨の時に通行止めになることが多く、これまでも冠水対策を求めてきましたが、なかなか進みません。アリオ鷲宮との間にある調整池への流水を検討し、対策を急ぐべきと要望しました。調整池への活用が可能かも含め検討するとの答弁です。

4. 住宅リフォーム助成制度の創設を

他の自治体では首長選挙の公約となるほど、市民の要望が強い助成制度の創設を要望しました。しかし、「私の考えとは違うので検討しない」後ろ向きな市長の答弁です。

市民の声に耳を傾け、くらしを応援する久喜市政を！



杉野おさむ

桜田3丁目7番1-504

1. 新生児の聴覚検査費用に市の助成を求める

新生児の1000人に1~2名の割合で難聴が発生するといわれています。もし、この時期に発見が遅れると、言語能力やコミュニケーション能力が正常に発達できなくなります。だからこそ早期発見、早期療育が重要なのです。

国・厚労省でも早期対応の重要性を踏まえて、交付税措置という内容で財源も手当てしているの、市町村では、早期の検査と公費助成をするよう推進している。久喜市では、これにこたえて市の助成制度を創設すべきだと、求めました。

市側は当初、「状況把握と調査を優先してから」としていましたが、続く同様の質問に対し、実施する意志を表明しました。

2. 理科大跡地の大給食センター計画は「凍結」を求める

給食審議会では「センター方式ありき」で答申を余儀なくされた経過があります。この間、市民の間では「自校方式がやれるなら是非ともやって欲しい」「公平な情報を示して考えたい」との声が多く出されています。自校方式、センター方式双方のメリット、デメリット、費用や、先行自治体での「市民の評価」などを市民に提供して、各地域で説明会を開いてはどうか。そのうえで市民に「意向調査」を行って是非を問うべきではないか、と正しました。市は、センター方式にこだわった答弁のみでした。



渡辺まさよ

所久喜705-3

国保会計の剰余金は、加入者の負担軽減に使うべき

久喜市は国保会計に対し、他の自治体と同様に一般会計から「法定外」の繰入を実施しています。それは、国保加入者が年金者の方や非正規の方など所得の低い方が多く、国保会計が厳しい中、赤字分を国保加入者への負担増とせず、食い止めるための重要な施策です。

国保会計から 2億2800万円 一般会計へ繰出

一般会計に戻したことで実質的な繰入金金は986万円のみとなりました。本来なら、剰余金が出たなら市民の負担軽減として、国保税の引き下げを考えるべきです。

国保税の負担は、所得200万円家族の多い世帯では、総所得の16%を超える負担となっています。協会健保や共済健保より高い負担率です。

さらに問題なのは、久喜市が子ども医療費などの窓口負担をなくしていることに対し、国は国保会計への国庫補助を2450万円もカットしています。一般会計に繰入金に戻したことから、国のペナルティ分まで国保加入者が負担していることとなります。本当に久喜市の政治姿勢が問われます。市民の痛みをしっかりと考えて欲しいと強く要求しました。しかし久喜市から、引き下げの意志は示されませんでした。